

母娘（おやこ）の素敵な会話に接して

当 HP の記事「係わり合う時の『構え』と『間』の重要性（「雑学BN」のメル友・コメント等関係（IV P、2007.10.11.：参照）」を目にしてくれたある母親から、「ところで、HP にありました“自己実現”とは・・・？」とのメール。

厚かましく次のように返信した。

【 “自己実現”とは、私的にはアイデンティティーを感じつつ生活することかな。

アイデンティティーについては、以前紹介した母校での講演録「福祉とアイデンティティー」（下欄「講演録」：参照）を再読ください。

言い換えれば、生きる（生活する）とは、自分自身のアイデンティティーを求めていくことだとも云えます。

こうした話をすると、「重症児は、考え求め続けていくことは難しいのでは？」とよく聞かれますが、人は誰でも存在するだけで、係わ合う人に生きるとはどういうことかを考えさせる力をもっています。

例えば、記事の元学生のように重症児と出会うことで、その学生がどう生きるか（学問の道を選ぶか）を考えさせる影響力を持っていたことになり、私の現職の35年間に出入りした元学生で、今、国立大学の教官になっているのは6人もいます。

重症児も、国立大学の教官を送り出したりっぱな仕事をしていることになり、

ですから、存在意味のない人なんて、この世には居ない！と云う訳です。 【

早速、母親から次のような返信があった。

【 自己実現について、有り難うございます。

なんか、子育て、自分育てに、似てますね。

阿部さんには、いつも色々なヒントを頂き勉強になります。

昨日、〇〇（注：中2のお子さんのお名前）に、「うちの家族は他とちょっと違うと思う」と言われました。

「なぜ勉強するか、心の居場所、なぜ学校を作ったか？とか、最近では、ゆるし、気付き、思いを伝える事、とか、普通の家庭では、話し合わないような事を話し合っているよね。」とも・・・

「変かな？普通と違うかな？だめかな？」と聞くと、「お母さんとして尊敬するより、人間として尊敬できる」と言われました。

なんか、とっても嬉しくて、嬉しくて、嬉しくて・・・。

こんな私が、子どもにそんな事を言われるなんて思ってもいませんでした。

ただ、分からないから一緒に考えようと思っただけなのに、阿部さんとのメールや色々な方々に支援して頂いて、もしかしたら、これが私の自己実現なの？と考えさせられる〇〇との会話でした。 【